

「名駅西口」 界限を歩く

昨年 11 月 29 日に名古屋市立大学で開催された「リニアシンポジウム」でパネラーを務めた前後から、名駅西口（駅西）界限を歩くことが多くなった。いつもは夕方から夜なので、写真がうまく撮れなかった。今回、思い切って寒い朝早く歩いた。

写真上（名古屋駅周辺まちづくり構想表紙）のように、JR 東海が建設するリニア中央新幹線は駅西まで伸びる。大深度「リニア駅」建設で地上部も用地買収が予定されている。写真中左の駅前案内図によると、現在の新幹線口から名鉄ニューグランドホテル両脇の道路と椿神明社あたりまでが対象となるようだ。



ビッグカメラ前の「椿町線」を渡ってすこし歩くと、椿神明社が見えてくる。そこからレポートで何回か紹介してきた「駅西銀座」の商店街がつづく。



椿神明社は駅西の真ん中あたりに位置して、「癒しのスポット」となっている。境内から再び道路に出ると、写真下「椿魚市場」という建物があった。このあたりは何回か歩いたが、夕方から夜が多いので市場に気づかなかった。営業中だったので、なかに入ってみた。それほど広くないが、魚屋さんが店を並べていた。大きなマグロを解体中で、新鮮そうな魚が売られていた。また日をあらためて、好物のマグロを買いに来よう。偶然に魚市場を「発見」して嬉しくなった。これもまち歩きの楽しみであるが、この市場がどうなるか心配だ。



リニア建設にともなう「用地買収」予定地区を一回りして、ホテル・店舗とともに、居酒屋や風俗関係の店が多いことが再確認できた。これらの土地をどうやって用地取得するのか、その用地をどう活用するのか考えさせられた。現地では、すでに「投機」的な動きもみられるという。当分、駅西から目が離せない。

(2015 年 2 月 11 日)